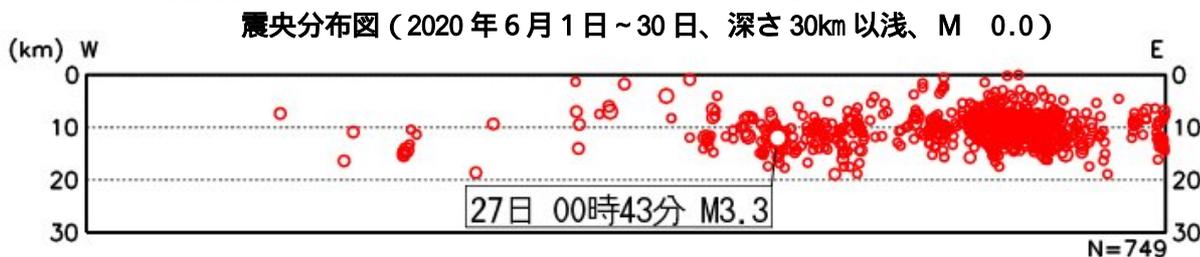
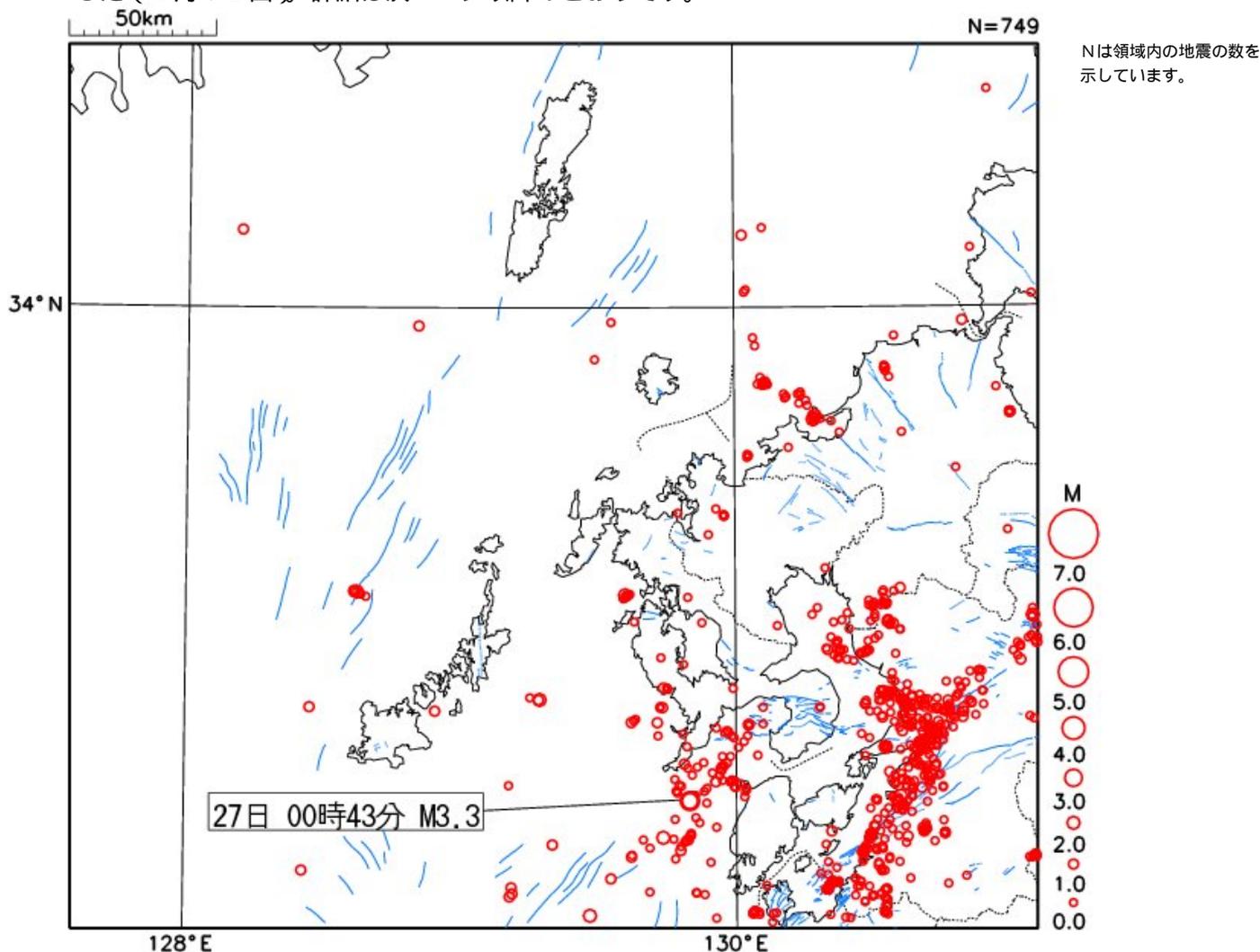


# 長崎県の地震活動概況 ( 2020 年 6 月 )

令和 2 年 7 月 8 日  
長崎地方気象台

## 地震活動の概況 ( 2020 年 6 月 )

6 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 3 回 ( 下記震央分布図領域外 2 回を含む ) でした ( 5 月 : 2 回 ) 。 詳細は次ページ以降のとおりです。

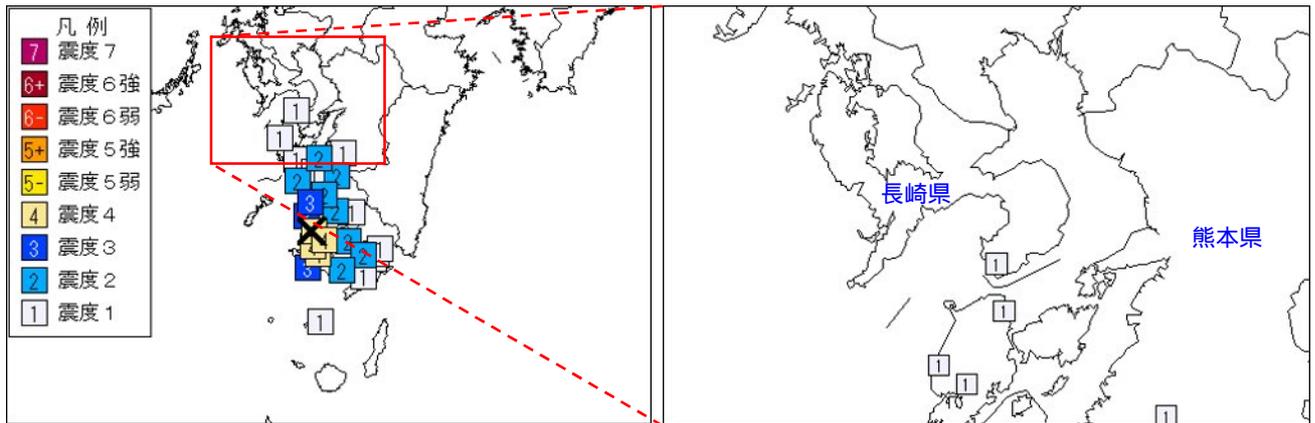


本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す ( 活断層のデータは新編日本の活断層による ) 。  
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 ( 河原、熊野座 ) 、米国大学間地震学研究連合 ( IRIS ) の観測点 ( 台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東 ) のデータを用いて作成しています。  
2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化 ( 減少等 ) がみられることがあります。

**薩摩半島西方沖（1ページ震央分布図領域外）**

1日09時33分に薩摩半島西方沖で発生したM4.3の地震（深さ9km）により、鹿児島県で震度4を観測したほか、長崎県、鹿児島県及び熊本県で震度3～1を観測しました。長崎県では南島原市で震度1を観測しました（図1）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（図2領域a）では、M4.0を超える地震は発生していませんでした（図3）。この領域で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、地方公共団体（長崎県）の震度データの活用を開始した2002年7月29日以降初めてです。



6月1日 09時33分 M4.3  
図1 震度分布図（左：市区町村別、右：観測点別、x：震央）

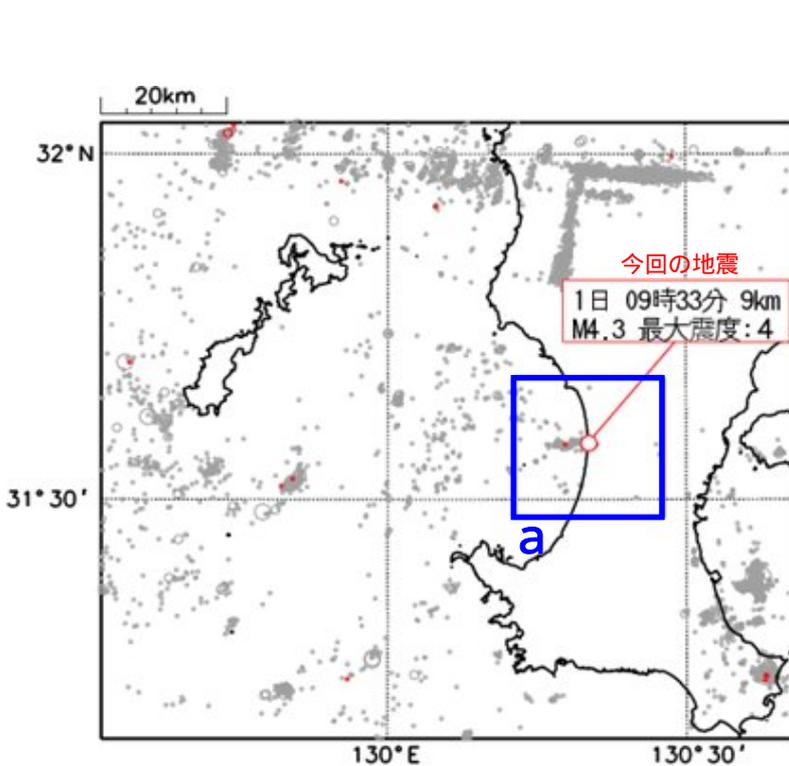


図2 震央分布図

（1997年10月1日～2020年6月30日 深さ0km～20km M 1.5）  
2020年6月1日以降の地震を赤色、2020年5月31日以前の地震を灰色で表示

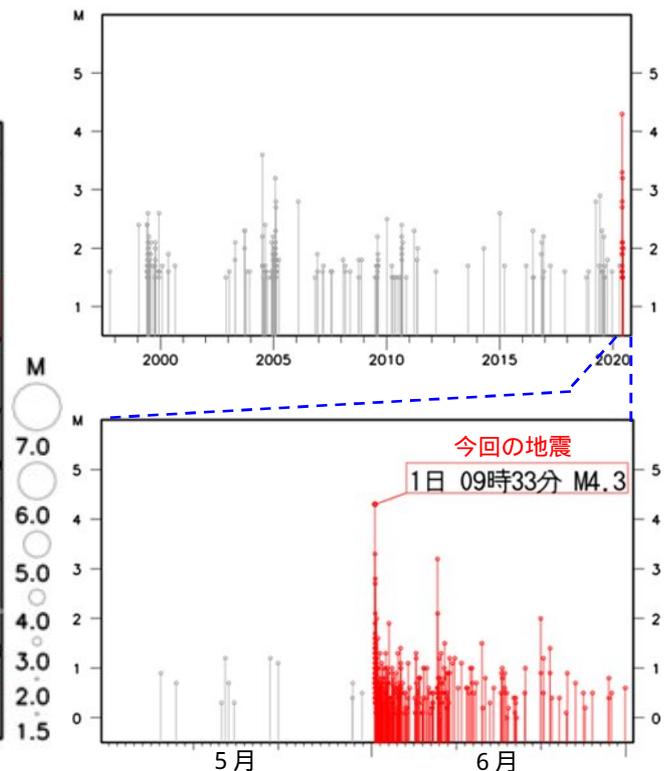


図3 図2領域a内の地震活動経過図

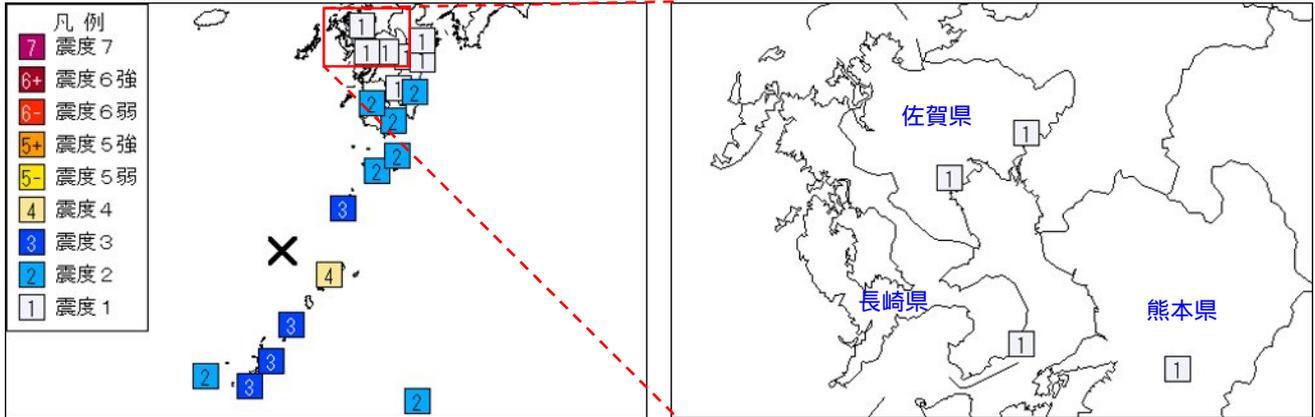
（上段：1997年10月1日～2020年6月30日、M 1.5  
下段：2020年5月1日～2020年6月30日、M 0.0）

**奄美大島北西沖（ 1 ページ震央分布図領域外 ）**

14 日 00 時 51 分に奄美大島北西沖で発生した M6.3 の地震（ 深さ 165km ）により、鹿児島県で震度 4 を観測したほか、九州地方から沖縄県にかけて震度 3 ～ 1 を観測しました。長崎県では南島原市で震度 1 を観測しました（ 図 4 ）。

今回の地震の震源付近（ 図 5 領域 b ）は、普段から地震活動がみられる領域で、M5.0 を超える地震が時々発生しています（ 図 6 ）。

この領域で発生した地震により、長崎県内で震度 1 以上を観測したのは、地方公共団体（長崎県）の震度データの活用を開始した 2002 年 7 月 29 日以降初めてです。



6 月 14 日 00 時 51 分 M6.3  
図 4 震度分布図（左：地域別、右：観測点別、x：震央）

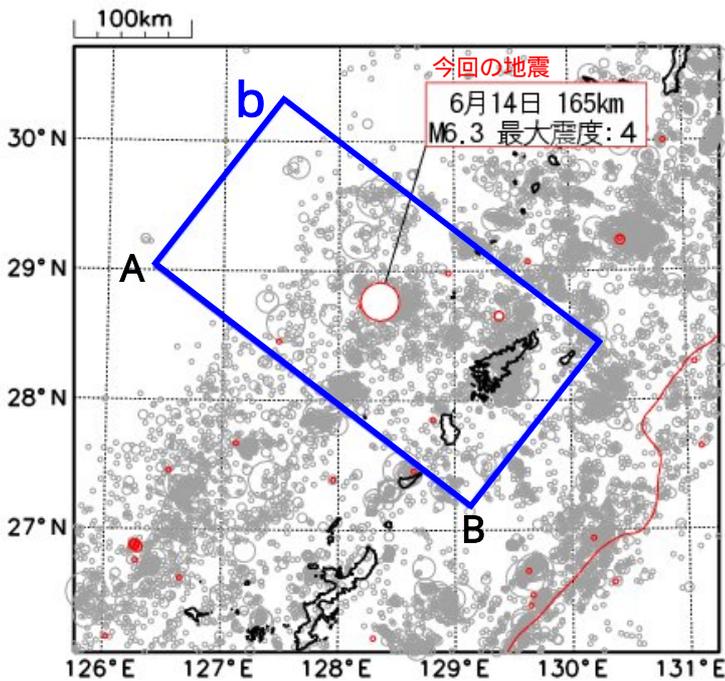


図 5 震央分布図  
（ 1997 年 10 月 1 日 ～ 2020 年 6 月 30 日 深さ 0 km ～ 300km M 3.0 ）  
2020 年 6 月 1 日以降の地震を赤色、2020 年 5 月 31 日以前の地震を灰色で表示  
図中の赤線は海溝軸を示す。

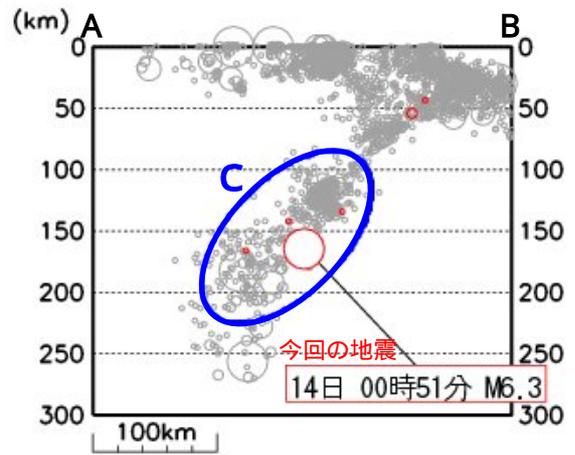


図 6 図 5 領域 b 内の断面図（ A - B 投影 ）

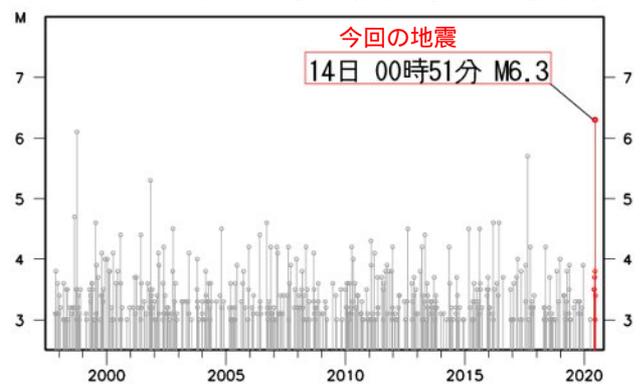
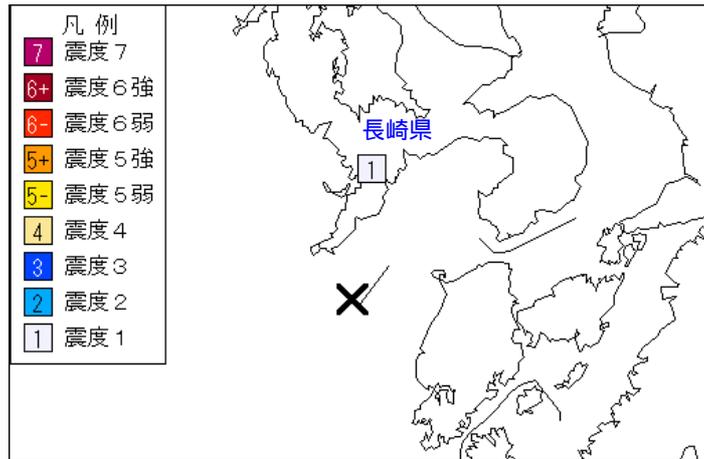


図 7 図 6 領域 c 内の地震活動経過図  
（ 1997 年 10 月 1 日 ～ 2020 年 6 月 30 日、M 3.0 ）

### 天草灘

27日 00時 43分に天草灘で発生した M3.3 の地震（深さ 12km）により、長崎県長崎市で震度 1 を観測しました（図 8）。

1997年 10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（図 9 領域 d）は、M3.0 を超える地震が時々発生している領域で、2019年 2月 23日に M4.4 の地震（深さ 14 km、最大震度 3）が発生し、長崎県、熊本県で震度 3 を観測したほか、九州地方で震度 2 ～ 1 を観測しました。長崎県では長崎市、雲仙市、南島原市で震度 3 を観測したほか、県内の広い範囲で震度 2 ～ 1 を観測しました（図 9、図 10）。



6月 27日 00時 43分 M3.3  
図 8 震度分布図（観測点別、x：震央）

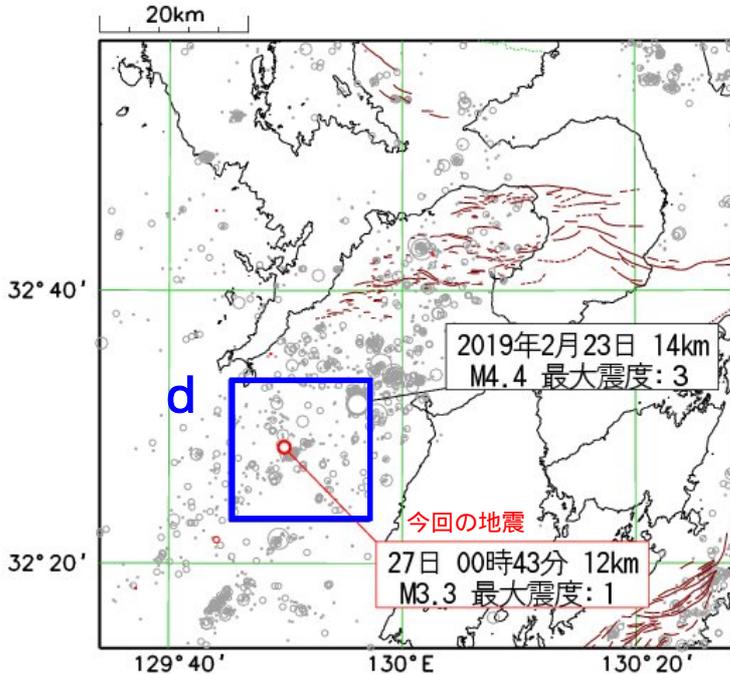


図 9 震央分布図

(1997年 10月 1日～2020年 6月 30日 深さ 0 km～20km M 1.5)  
2020年 6月 1日以降の地震を赤色、2020年 5月 31日以前の地震を灰色で表示  
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

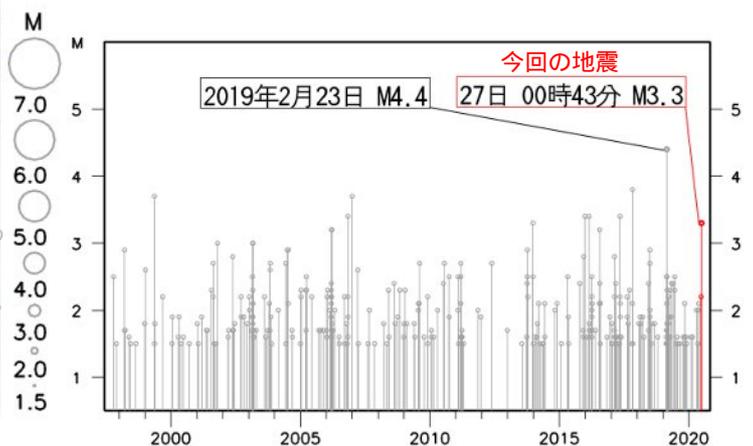


図 10 図 9 領域 d 内の地震活動経過図  
1997年 10月 1日～2020年 6月 30日

## 長崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表 ( 6 月 1 日 ~ 30 日 )

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2020年06月01日09時33分 震度 1 : 南島原市加津佐町 *	薩摩半島西方沖	31° 34.8' N	130° 20.2' E	9km	M4.3
2020年06月14日00時51分 震度 1 : 南島原市布津町 *	奄美大島北西沖	28° 45.8' N	128° 21.3' E	165km	M6.3
2020年06月27日00時43分 震度 1 : 長崎市元町 *	天草灘	32° 28.5' N	129° 49.8' E	12km	M3.3

注) 震源要素 ( 緯度・経度・深さ・M ) は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

\*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

# 津波から命を守るためには

## ～ すぐ避難！ ～

これから海水浴など海のレジャーシーズンが始まります。魚釣り・海水浴・磯遊びなどで海岸や河口付近にいる場合に地震による揺れを感じたときや、揺れを感じなくても大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されたときは、以下のような行動をとることが必要です。

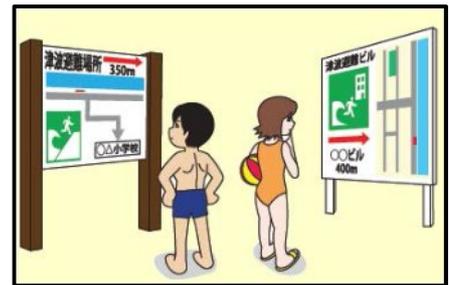
### 津波のおそれがある時

- ・海辺で地震の揺れを感じたら  **津波警報・注意報を待たずにただちに避難！**
- ・地震の揺れを感じていなくても大津波警報・津波警報が発表されたら  **ただちに安全な場所に避難！**  
**避難は「より高いところ」へ**
- ・地震の揺れを感じていなくても津波注意報が発表されたら  **ただちに海から上がって海岸のそばから離れる！**

**津波は繰り返し襲ってくるので、大津波警報・津波警報・津波注意報が解除されるまで避難を続けましょう。**

### 海岸・河口付近に来たら

まず、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。ラジオ、スマートフォン、携帯電話、防災行政無線などの情報の入手手段を確認し、そこからの情報に注意しましょう。



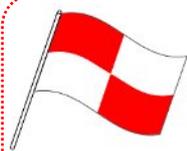
### 津波の標識の例

津波のおそれがある地域には、避難場所や避難経路がわかる標識が設置されているところがあります（標識はJIS規格により制定されています）。

		
<b>津波注意</b>	<b>津波避難場所</b>	<b>津波避難ビル</b>
津波が起きた場合、津波が来襲する危険のある地域を表示	津波に対しての安全な避難場所（高台）の情報を表示	津波に対しての安全な避難場所（避難できるビル）の情報を表示

なお、気象庁が発表する大津波警報・津波警報・津波注意報、津波予報、津波情報に関しては、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>



先月号で紹介した津波フラッグについて、気象庁は6月24日に運用の参考となるガイドラインを公表しました。今後、各地の海水浴場等で順次津波フラッグの運用が始まります。詳細は以下のホームページをご覧ください。

[https://www.jma.go.jp/jma/press/2006/24b/tsunamiflag\\_unyou.html](https://www.jma.go.jp/jma/press/2006/24b/tsunamiflag_unyou.html)